

2022-2023 年度 11 月 10 日 (木)



## 浪江ロータリークラブ

The Rotary Club of NAMIE

### 第 2543 回例会次第 (SAA 増子義夫)

- 1、開会点鐘
- 2、ロータリーソング  
「君が代」  
「奉仕の理想」
- 3、ロータリーの目的 八島貞之会員
- 4、四つのテスト 苗村茂樹会員
- 5、ゲスト紹介
- 6、バースデースピーチ
- 7、会長の時間
- 8、ゲスト卓話  
北村秀哉氏 (かわうちワイン(株)取締役)
- 9、幹事報告
- 10、各委員会報告
- 11、閉会点鐘

### ◆ 会長の時間 松原茂 ◆

皆さん、こんにちは。どうぞよろしくお願いたします。

本日は越谷北 RC 様より大島会長、江口幹事をはじめ 6 名の皆さまにお越しいただきました。

浪江の地に来ていただきましたこと、感謝申し上げます。

先週 2 日越谷北 RC 様の例会に、当クラブより 5 名でお伺いしてきました。素敵な例会場、そして例会、さらには会報の配信までを見させていただきまして、私たちももっともって例会のレベルアップが必要であると感じさせられた例会でした。たいへんお世話になり、ありがとうございます。

さて、先月末 29 日に第 2530 地区の「職業奉仕委員会セミナー」に、私と小黒幹事、泉田副会長、地区研修委員会に出向している伊藤パスト会長、同じく会員増強拡大・DEI 委員



会の増子パスト会長の 5 名で参加してきました。職業奉仕とはロータリーの目的、第 2 の「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする」といわれる職業を通じての社会奉仕そのものです。

今回は株式会社ハードオフコーポレーションの代表取締役会長の山本善政氏より「わたしにとっての 4 つのテスト」という演題での講演を聴いてきました。皆さんも見かけたことのあるリサイクルショップのハードオフやブックオフの創業者であり、第 2560 地区、新潟県新発田 RC に 28 年間在籍されていました。

山本氏は 1970 年に大学を卒業後、スーパーマーケットで 2 年間働いた後、1972 年に楽器店「サウンド北越」を創業、高度成長期の流れにも乗り北越地方を中心に 10 店舗ほどに店を増やし、当時新しく出てきたパソコンの取り扱いも行っていました。しかしバブル崩壊により売上げが一気に半減、資金繰りにも困り、新しい業態を模索し続けて 1993 年リユース品の仕入れ販売を行うハードオフに業態変更しました。1 号店をオープンさせて、その後ほかの店舗も順次ハードオフへと業態変更させていきました。

1号店オープンの資金は銀行では融資してくれず、楽器やパソコンの閉店・処分セールで捻出したとの事でした。ダーウィンの進化論で、生き残るものは変化できるものである、逆に変化できなければ絶滅してしまうという事にもふれられました。

メーカー主導で価格決定権を持ってない通常のメーカー仕入れでの小売業ビジネスの限界、さらには楽器という特殊な商品・限られた市場規模。そこで家庭などに眠っている生活用品や本、衣料品、家電製品などを掘り起こすリユース・リサイクルビジネスに目をつけ、まさに事業のリセット、事業再構築を行い、第2次創業を果たしました。おりしも世の中では大量生産大量廃棄からエコロジー、もったいない、地球にやさしいという新しい価値観が生まれ始め、地球にやさしく資源を大切にす循環型社会へ向けたリユース、リサイクルビジネスの可能性が高まっていました。現在は直営店 396 店フランチャイズ店 518 店の合計 914 店を構えています。フランチャイズ事業は、同じく楽器店や家電店など同業者などの、事業転換の支援という意味合いもからスタートさせたとの事です。

常に、正しいビジネスモデルであるのか、時代に合って優れたものであるかどうかを考え、3つのキーワード①エコロジーとエコノミーの共生②社会課題、困っていることを解決する③価格の決定権を持つこと、自分で値決めできることをベースに経営を進めてきました。

「不易流行」という言葉にもふれ、不易とは時を超えた不変の真理～志や経営理念、創業の精神など。そして、流行とは時代や環境変化によって変えるもの～ビジネスモデル、戦略、戦術の両面を活かした経営が重要であるとの事でした。

ロータリーで学んだ四つのテストも経営理念としてアレンジして ①社会のためになるかど

うか ②お客様のためになるかどうか ③社員・スタッフのためになるかどうか ④会社のためになるかどうか、常にこの4つを満たすことを心掛けてきました。

リサイクル、リユースは時代のニーズです。アパレル・衣料品市場では数年前まで、大量生産大量廃棄がなされ、ピーク時には年間 29 億着作られて、15 億着売れ残る、それらは値下げ処分やアウトレット、輸出やリサイクルなどに回され、それでも相当部分は廃棄されている状況にありました。住宅市場においても 2018 年の資料ですが、総住宅数 6240 万戸（集合住宅含む）、848 万戸もの空き家がある現状です。食品ロス・食糧廃棄についても、日本人一人 1 日当たり 113g 軽くご飯一杯分くらいの量ですが、年間ですと 41kg にもなります。食糧自給率カロリーベースで 38%、エネルギー自給率わずか 12%の日本。変化の激しいこれからの時代、自らの仕事や会社を考える上で、示唆に富み、参考になる講演でした。

## ◆ ゲスト卓話 ◆

北村秀哉氏 かわうちワイン(株)取締役

1973 年のオイルショックで町のネオンサインが一斉に消えたことに衝撃を受け、東京工業大学で原子力工学を



学びました。1986 年に東京電力に入社。1997 年フランスに赴任し、ワインと食の文化に興味を持ちました。2011 年東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故が発生し、その 3 年後、福島復興本社に異動し、復興の仕事に従事する中で、地域と共通の目標を持って私人として臨める事として醸造用ブドウ栽培とワインづくりにチャレンジ、活動を開始しました。



場所は人口2千人の、フランスのブルゴーニュ地方の風景に似ている福島県浜通りの川内村に決め、村と中央葡萄酒(株)の協力のもと耕作放棄地(村所有)を開墾し2016年4月に約2千本の苗木を植栽、ブドウの栽培を開始しました。2017年、圃場を3haに拡張し、村内外からの地域おこし協力隊を結成し8千本を植栽しました。昨年の2021年に醸造施設が完成し初収穫・初醸造、そして今年の3月には初のビンテージワインを初出荷することができました。

ワインが川内村の魅力の一つとなることで若い人にも川内村に関心を持ってもらい、村外から多くの人にきていただきワインツーリズムの創成に繋げていきたいと思っています。

すでに定年退職をしておりますが、今後は村でのワインつくりと「究極の美味しさは山地にあり」を活動理念として、地域の食材を活かした美味しい料理と福島のお酒のマリアージュを楽しめる県内の料理店や宿を紹介する「テロワージュふくしま」の活動を通じて福島の復興に力を注いでいきたいと思っています。



### ◆ ゲスト紹介 ◆

友好クラブである第2770地区越谷北ロータリークラブから、松井昭夫パスト会長、大島直幸会長、長谷川真也副会長、江口公晴幹事、友好クラブ委員会中澤伸浩委員長、今井副委員長の6名の皆様がメーキャップされました。



### ◆ 今月の誕生日 ◆

11/14 吉田俊哉会員

11/21 叶 経道会員





◆ 幹事報告 小黒敬三 ◆

- ① 理事会の議題と結果について
- ・定款変更について、国際ロータリー定款に準じて変更することが承認されました。  
なお、浪江 RC 細則は定款に合わせて12月理事会で議題といたします。
  - ・次年度理事・役員（案）について承認されました。12月の総会により決定いたします。
- ② 11月13日の地区大会に参加される方は、泉田ガバナー年度で浪江 RC でも担当することになるので運営方法など詳しく見てきてください。
- ③ 地区大会記念ゴルフ大会の成績について、113名中、6位松原会長（48-45の93）、伊藤正人さん25位（49-47の96）と健闘されました。
- ④ 次の例会は、11月24日（木）18時よりオンライン例会となります。

◆ スマイル報告 ◆

20,000 円

前司昭一：越谷北 RC 歓迎します。浪江水素ステーション12/12オープンします。

10,000 円

越谷北 RC：本日はよろしくお願ひいたします。先週は当クラブの例会場にお越しいただき有難うございました。

4,000 円

松原茂：越谷北 RC の皆様、ご来訪有難うございます。北村様、ゲスト卓話楽しみにしております。

2,000 円

小黒敬三：北村さん卓話有難うございます。越谷北 RC の皆さんようこそ。  
泉田征慶：越谷北 RC の皆様ようこそお越しくださいました。

増子義夫：かわうちワイン(株)取締役北村秀哉様、卓話有難うございました。越谷北 RC 会長大島直幸様はじめ6名の皆様ようこそ浪江へ。

松本里美

1,000 円

伊藤公明：越谷北 RC の皆様ようこそお越しくださいました。

岩本清孝：卓話に感謝。越谷北 RC の皆さん歓迎。

小丸真司：越谷北 RC のお客様歓迎。

金澤文隆：メイクアップありがとうございます。

叶 経道：越谷北 RC の友好訪問ありがとうございます。

重富秀一：越谷北 RC の皆様、ようこそ浪江へ！

永橋律子：越谷北 RC 会員の皆様、ようこそ浪江へ！感謝です。

以下お名前のみ

朝田宗弘 朝田英洋 厚綿政弘

伊藤正人 佐藤浩宗 茂木博史

望月純夫 八島貞之 吉田知成

吉田政輝 渡邊貴夫

計 25 名 60,000 円

◆ ロータリー財団寄付 ◆

計 21 名 51,000 円

◆ 米山記念奨学会寄付 ◆

計 17 名 46,000 円

